

世界へはばたけ 土佐っ子よ

全国調査から脱却し、GKH(高知県民総幸福度)の
「子育て・教育」、「文化」の分野を5点満点に

高知家の宝
土佐っ子たちは
世界を担う



土佐町 産業振興課
島崎 祐企

政策指導
(一社)日本経営協会 講師
(株)ヒロ・マネジメント 代表取締役
田中 浩

高知市 暮らし・交通安全課
熊澤 佑太

中土佐町 教育委員会
西森 真由

安芸市 建設課
小松 啓

◀◀◀◀ 平成29年度 ▶▶▶▶

政策研究共同事業 企画書

子どもたちの知・徳・体の向上

チーム 高知家教育維新隊

高知県の現状

高知県の全国学力・学習状況調査結果は、小学校では全国平均正答率を維持しているものの、中学校では全国平均正答率を下回っています。暴力発生件数及び小中学校不登校者数は、全国ワースト2位、1位を占め、体力・運動能力調査結果の全国順位も下位となっています(右表参照)。これらのことから、高知県の子どもたちは、「知・徳・体」のいずれの項目においても、全国的に低い状況にあると言えます。

この背景には、生活の困窮(厳しい経済状況の中で、保護者に子どもと向き合う余裕がない)や、家庭の教育力の低下(子育てに不安や悩みを抱えている保護者が多い)、また地域における見守り機能の低下(地域における互助・共助の意識の希薄化)があると思われます。

提案の背景

私たちは、子どもたちに必要なものは「知・徳・体」のバランスが取れることにより育まれる「生きる力」だと考えます。また、全国学力・学習状況調査の結果は、「生きる力」の指標にはなりえないと考えます。全国調査対策として、模擬問題や過去問題に毎日取り組ませ、その時間を確保するために家庭科や図工の時間を削れば、順位は向上するかもしれませんが、しかし、順位を上げること、平均点を上げることだけに一生懸命になることは、本当に必要な生きる力を得ること、教育をより良くすることから外れていくように思われます。

このような想いから、県内の教育関係機関や保護者に「学力調査の順位を上げる教育に力を入れるべきか」を尋ねたところ、「成果主義になっていくことを危惧する」、「順位を上げる教育よりも、高知県らしい、高知県に残る教育をしてほしい」という意見がありました。

そこで私たちは、GKH指標(高知県県民総幸福度)を用いて、「知・徳・体」を高知県独自の方法で向上させることを考えました。GKH指標は、高知県らしい豊かさを「見える化」するために、高知県での暮らしに対する県民の主観的な評価・充足感を把握し、指標化する取り組みです。

GKH指標の7つの分野のうち、子育て・教育、文化のGKH指標は、他分野の指標より子どもたちの「知・徳・体」の向上に寄与すると考え、この2分野の平均実感度を5点満点にすることにより、「知・徳・体」の向上、生きる力の向上を目指します。

(1) 知:平成29年度全国学力・学習状況調査結果(正答率)

	国語平均正答率		全国との差	算数・数学平均正答率		全国との差
	高知県	全国		高知県	全国	
小学A	74.9	74.8	0.1	81.6	78.6	3.0
小学B	56.8	57.5	-0.7	46.2	45.9	0.3
中学A	75.8	77.4	-1.6	61.9	64.6	-2.7
中学B	68.9	72.2	-3.3	44.7	48.1	-3.4

出典:高知県平成29年度全国学力・学習状況調査結果資料

(2) 徳:平成27年度暴力行為件数、不登校者数(千人あたり)

9.2件…全国ワースト2位 15.7人…全国ワースト1位

出典:高知県平成27年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上のよ問題に関する調査」参考資料

(3) 体:平成28年度全国体力・運動能力調査結果(全国順位)

小学校	男子	28位	女子	29位
中学校	男子	31位	女子	38位

出典:高知県平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書

提案事業

① Kコインの推進

K(Kochi-Kyouiku)コインは、地域のイベントスタッフやボランティア活動に参加した子どもに発行する仮想通貨です。

Kコインは子どもの教育のため*に使用できる通貨で、Kコインを流通させることにより、**家庭の経済的負担を軽減**するだけでなく、子どもたちが**自発的に地域活動に参加**していくことを目指します。

※【Kコイン使用例】学校の入学金、習い事に係る費用、部活動の備品、本など

② 小中学校の修学旅行誘致の推進

高知県には豊かな自然やおいしい食材がたくさんあります。また、幕末には活躍した偉人が数多くいました。

そこで、子どもたちに自分たちの住む地域でフィールドワークをしてもらい、文化や地域の魅力を自分たちで発見してもらいます。子どもたちが発見した文化や地域の魅力を修学旅行のプランに凝縮し、県外・国外の学校にアピールして誘致を目指します。

この事業により、子どもたちの**探究心が養われ、地域との繋がりが強化**されます。また、自分たちの地域の魅力に気づき、**郷土愛**が深まります。

③ マイスター育成の推進

マイスターとは「巨匠・名人」を意味します。スポーツ・文化・勉学の各分野における高知県出身者や在住者のマイスターを、高知県内の小中学校に派遣します。

自分が興味を持った分野のマイスターの授業を受けることで、子どもたちの能力を伸ばし、**自己肯定感の向上に繋がります**。また、得意な分野を学ぶことで自信がつけば、主体的に学ぶ習慣がつくことも期待できます。加えて、「高知のマイスター」と触れ合うことで、子どもたちは**高知に誇りを持てる**ようになります。

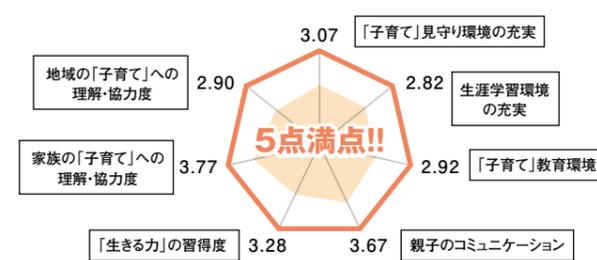
この事業により、今よりもっと多くの土佐っ子が世界で活躍できるようになることを目指します。

④ よさこい文化の推進

高知県には「よさこい鳴子踊り」という文化があります。このよさこい鳴子踊りを授業に取り入れて、子どもたちだけの土佐っ子よさこい大会を開催し、最終的には海外(ニューヨーク、ラスベガス、パリなど)でよさこい鳴子踊りを披露することを目指します。この事業により、**目的を持った運動機会を創出**でき、**自分たちの文化に誇りを持つ**土佐っ子が育ちます。

まとめ

子育て・教育分野の平均実感度(3.20)



文化分野の平均実感度(2.96)

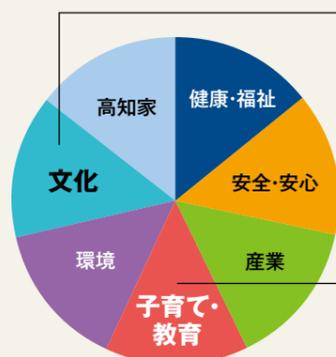


※GKHの各分野における項目別平均実感

GKH(高知県県民総幸福度)の向上

知・徳・体(生きる力)の向上

高知県県民総幸福度(GKH)指標



- 興味・関心のあることに取り組むことが出来ていること
- 満足できる余暇があること
- 地域に頼れる人がいること
- 地域の文化や特色に愛着や誇りを感じる
- 地域での伝統、文化や歴史を子どもたちに教え、次世代に引き継がれていくこと

- 興味・関心事への取組
- 満足できる余暇
- 地域に頼れる人がいる実感
- 地域への愛着
- 地域の伝統、文化の継承

- 親子の間でコミュニケーションがとれていること
- 子どもが安心して通学や遊びが出来る地域の見守りがあること
- 子どもが社会生活上必要な知識、技能、社会性、体力をつけること
- 家族に子育てに関する理解や協力があること
- 生涯にわたる学習環境が充実していること

- 親子コミュニケーション
- 地域の見守り
- 「生きる力」の習得
- 家族の理解・協力
- 生涯学習環境の充実

出典:高知家の家族会議~高知県の幸福度を考える県民会議~「高知家のしあわせ」